



みどりの風



令和3年7月19日発行

「教科の学習と社会」

校長 米山 武彦

近年、AI（人工知能）を実現するための技術の一つである機械学習が、非常に注目を浴びています。機械（コンピュータ）がデータ（事例や経験）を学習し、パターンや傾向を掴んで、そこから未知のデータの予測が可能になります。では機械学習はどのように学習するのでしょうか。この学習をするために数学が登場します。

人工知能の研究者、立命館大学 谷口忠大 教授によると、スマホで撮った画像の圧縮には三角関数（高校で履修）が、ゲームアプリを開くと小気味よく動いている3Dのキャラクターはベクトルや微積分（高校で履修）に基づく物理運動の数値演算が、地図アプリで特定の位置を推定する技術は確率統計（中2で履修）の数学を使ったモデルが関連しているそうです。スマホの中は数学に満ちており、数学の重要性をますます感じます。

そう言っても、スマホは数学を勉強しなくても使えるから、勉強しなくてもいいのでは？という声がかかってくるそうです。確かにスマホを使う上でスマホを支えている技術を知っておく必要はありません。しかし、通話以外にアプリを使って様々なことができるスマートフォンは、これまで数学を学んだ人の誰かが情報技術を担って現在のスマホを製品化してきました。すでに多くの人々が利用し、生活に欠かせない製品のひとつになっています。このように誰かの手によって社会にある様々なものは作られています。もちろん技術だけではなく、それを活用した機器やサービス、それ以外のことを含め、一人一人がその一部を担うことで、社会が成り立っています。

生徒のみなさんが勉強しなければ、これからの社会は誰が担っていくのでしょうか？学校で学ぶ科学習は、自分のためです。数学に限らず、学びを深く活かすことができれば、それが社会のためにつながっていく可能性があります。

夏休みは時間にもゆとりがあります。この時間を通常よりもじっくりと学習する時間に充ててください。これからの社会のためにしっかりと学んで欲しいと思います。

3年思春期講座



7月15日（木）6校時、思春期講座を行いました。市男女共同参画課と始良警察署の方から、一人一人の人権を大切にされたデートDV防止についてお話をしていただきました。

生徒たちは、性に関する正しい知識を身に付けるとともに、自分も相手も尊重することの大切さを学びました。

